多根介護老人保健施設てんぽーざん

2023 年度年報

目 次

目次	P　1
病院概要	P　2
診療部	P　3
看護／介護	P　4
リハビリテーション科	P　5
医療生活相談室	P　7
栄養科	P　8
薬局	P 10
事務部	P 12

〒550-0021　大阪市港区築港 3-4-25

TEL：06-6559-1212（代表）　FAX：06-6559-1213

交 通

電 車　地下鉄中央線大阪港駅下車徒歩３分

市バス　大阪駅前より（88）天保山行　築港１丁目下車徒歩３分

なんば駅前より（60）天保山行　築港１丁目下車徒歩３分

（写真の 7･8 階が介護老人保健施設てんぽーざん）

【施設概要】

院 長	刀山　五郎
開設日	2000 年（平成 12 年）3 月
定員	100 名（一般棟 50 名・認知症専門棟 50 名） 通所リハビリテーション定員 60 名
土地・建物（㎡）	敷地面積　3,568.04 ㎡　　延床面積　専用部 2,918.88 ㎡＋共用部 2,016.68 ㎡
基準関係	【各基本サービス費】介護老人保健施設サービス費(Ⅰ)、短期入所療養介護費、介護予防短期入所療養介護費、通所リハビリテーション費、介護予防通所リハビリテーション費

【入所】各種加算

夜勤職員配置加算	短期含
短期集中リハビリテーション実施加算	
認知症ケア加算	短期含
在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）	短期含
入所前後訪問指導加算（Ⅰ）	
口腔衛生管理加算（Ⅱ）	
療養食加算	短期含
所定疾患施設療養費（Ⅰ），（Ⅱ）	
認知症専門ケア加算（Ⅰ）	
リハマネ計画情報加算	
褥瘡マネジメント加算（Ⅰ），（Ⅱ）	
科学的介護推進体制加算（Ⅰ）	短期、通所含
安全対策体制加算	
サービス提供体制強化加算（Ⅱ	短期、通所含
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	短期、通所含
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）	短期、通所含
介護職員等ベースアップ等支援加算	短期、通所含

【短期（予防含）】各種加算

個別リハビリテーションの実施加算
緊急短期入所受入加算
在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）

【通所（予防含）】各種加算

理学療法士等体制強化加算
リハビリテーション提供体制加算
入浴介助加算（Ⅰ）
リハマネ加算（A）ロ、（B）ロ
短期集中個別リハ実施加算
認知症短期集中リハ実施加算（Ⅰ）、（Ⅱ）
栄養アセスメント加算
口腔・栄養スクリーニング加算（Ⅰ）、（Ⅱ）
重度療養管理加算
中重度者ケア体制加算

（2024 年 3 月現在）

◆診療部

【部署概要】

多根介護老人保健施設てんぽーざんは、多根総合病院での急性期治療、あるいは多根脳神経リハビリテーション病院での回復期治療を終えた方に加えて、地域における他院・他施設からのリハビリおよび介護ニーズが高く、かつ在宅復帰や施設入所の意向のある方に対し、医師による医学的管理の下、看護師・介護士・リハビリ療法士・管理栄養士・薬剤師・支援相談員等、多職種協働による専門的な管理を通じて、自立支援・家族支援をおこなっている施設です。いずれも 24 時間の看取り・ターミナルケアにも対応しています。

＜介護老人保健施設てんぽーざん 入所療養棟＞

入所設備は 7 階と 8 階にそれぞれ 50 床ずつ計 100 床あり、特に 8 階は認知症専門病棟となっています。介護を必要とする高齢者（要介護 1～5）の自立を支援し、在宅復帰や施設入所を目的として、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供しています。また、在宅サービスのひとつである短期入所療養介護により、介護者の急用やレスパイトにも対応しています。

＜介護老人保健施設てんぽーざん 通所リハビリテーション＞

要介護ならびに要支援の利用者様を対象に、機能回復に重点を置いた医学的管理下でのデイケアすなわちリハビリテーションサービスを中心に提供しています。

【診療・部署体制】

多根介護老人保健施設てんぽーざんでは、令和 4 年 4 月より、多根総合病院から常勤医師 1 名を迎え、管理者兼施設長として就任しており、非常勤医師との 2 名体制にて、長期入所、短期入所、通所リハビリテーションの各サービスの管理をおこなっています。

【特色・トピックス】

介護老人保健施設運営を行う中で、法人内だけでなく、地域の関連機関との連携も重要視すべきという観点から、港区医師会や在宅サービスの要である地域の介護支援専門員の集まり（介護支援専門員連絡会）に対して当施設の PR を行い、これまで以上に密な連携がとれるよう努めた。また、法人内の取組としてはじまったベッドコントロールシステムを活用し、依頼のあった利用者については、速やかに受け入れるよう努め、その結果、2023 年度は 2016 年度以来、7 年ぶりに黒字に転じた。

◆看 護 ／ 介 護

【部署概要】

病棟	定床	部署概要
7階	50	要介護認定を受けた方が対象である。「今できることを維持」し「工夫すればできること」で利用者のできることを多くするためのサービスを多職種が協働して行い、家族の意向も踏まえケアプランを展開している。入所者のその人らしさを支えながら看取りケアも行っている。
8階	50	認知症専門棟である。認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ，ⅣまたはMに該当する方が対象である。中核症状、周辺症状（BPSD）が見られる利用者に対して尊厳を尊重しつつ安全に配慮したケアを心がけている。
通所リハビリテーション	60	要支援から要介護5までの介護保険利用者、短時間リハビリを対象としている。居宅サービス計画書に沿って理学療法士・作業療法士が通所リハビリテーション計画を立案し実施、居宅ケアマネージャーと連携し在宅生活が継続できるように支援している。

【診 療・部署体制】

施設長　1名
事務長　1名
副施設長　1名
療養課長　1名　7階・8階・通所リハビリテーション
施設介護支援専門員　1名
看護主任　看護師　7階　1名
介護主任　介護福祉士　7階　1名
介護主任　介護福祉士　8階　1名
介護主任　介護福祉士　通所リハビリテーション相談員　1名
介護副主任　介護福祉士　7階2名・8階1名

【特色・トピックス】

入所依頼時は速やかに検討会を実施し早期の受け入れを行っている。入所時訪問を実施しセラピストによるリハビリ以外にケアプランでもフロアで行う個別リハビリを計画・実施・評価を行っている。退所時自宅訪問を実施し居宅ケアマネージャーも含め協議し安心し自宅での生活が送れるように援助している。緊急短期入所の対応見直しも行いスムーズな受け入れを行っている。
通所リハビリもセラピストによるリハビリ以外にデイケアフロアでリハビリを行い、利用者の身体状況や希望に沿った身体機能訓練の提供を継続的に実施している。

【診療・部署実績】

1.利用者・家族が満足出来るケアプランの展開
　①個別ケアを実施し在宅復帰率を増やし、平均在院日数の短縮
　②各業務手順・介護手順の見直し
　③看護師の実践力の向上
　④ACP プロジェクト（老健の ACP ノートの活用）
　⑤アクションプランへの取り組み
　⑥書類の見直し
2.他事業所と顔の見える関係作りを行い、当施設の認知度を高める事で実利用者増を目指す
　①いきいき百歳体操の実施　（土曜日開催）
　②港区高齢者施設連絡会議にて　（毎月開催）　情報交換
3.新型コロナによる面会制限への対応で SNS 発信（インスタグラム投稿・てんぽーざん便り発行）
4.留学生への支援（国家試験1名合格）
5.学生実習受け入れ
　1）大阪公立大学医学部地域医療実習

２）老年看護学実習

①大阪公立大学（府立・市立）

②大和大学

③大阪医療看護専門学校

④大阪府病院協会看護専門学校

３）介護

森ノ宮医療ウエルランゲージスクール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
7階	病床稼働率	90.0	90.8	89.1	83.9	91.2	97.1	89.0	83.5	91.3	91.5	99.6	90.8
	在宅復帰率	60.0	66.7	62.5	40.0	75.0	66.7	60.0	50.0	100.0	50.0	0.0	80.0
	平均在所日数	189.4	182.6	152.9	132.7	160.8	223.5	180.9	108.6	378.0	214.2	342.3	279.3
	看取り件数	1	0	0	3	3	0	0	1	0	1	0	1
8階	病床稼働率	86.4	91.7	91.6	91.8	96.6	97.1	97.2	93.3	94.9	94.5	89.9	86.5
	在宅復帰率	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	66.7	50.0
	平均在所日数	223.8	301.1	266.2	692.0	411.1	318.4	746.0	343.5	578.8	412.0	315.0	331.3
	看取り件数	3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1
通所リハビリ		29.3	30.9	31.5	30	31	31.8	31.5	31.9	30.8	32.2	32.3	32.9

◆リハビリテーション科

【部署概要】

長期入所：心身機能、日常生活活動の維持、改善を図り、在宅復帰を目的としたリハビリを提供している。
①入所後３か月以内は短期集中リハビリを週３回以上の個別リハビリで対応している。
②入所後３か月以降は週１回の個別リハビリ、週１回の集団リハビリで対応している。
短期入所：スムーズに在宅生活に戻れることを目的とし、自宅で課題となっている動作の練習や入所中の廃用症候群予防のリハビリを提供している。
通所リハ：心身機能、在宅介助量の維持・改善や社会参加の拡大を目的としたリハビリを提供している。
①退院、退所後３か月以内は１回 40 分、週２回以上の短期集中リハビリにて対応。
②短期集中リハビリ以外は必要性に応じた個別リハビリ時間にて対応している。
③リハビリに特化した短時間通所リハビリ（１～２時間通所リハビリ）も対応。

【診 療・部署体制】

2023 年９月より理学療法士１名増員し、理学療法士４名、作業療法士１名で入所 100 床と通所リハビリ１日当たり定員 60 名に対応している。
リハビリ訓練室面積は入所 100 ㎡、通所 50 ㎡となっている。
リハビリの実施以外に、入所利用者に対しては入所前後訪問指導、退所前後訪問指導、ケアカンファレンス、退所時カンファレンス等の参加も実施している。
通所リハビリ利用者に対しては居宅訪問指導、リハビリ会議（リハマネＡロ、Ｂロ）、サービス担当者会議への参加も実施している。

【特 色・トピックス】

・長期入所：2023 年度の退所者数は自宅への退所 45 名、有料老人ホーム等の居宅系施設への退所 11 名、特別養護老人ホームへの退所 31 名、他老健への退所１名であった。自宅退所に関する支援として福祉用具導入の助言や利用者、家族等へ動作指導を行っている。また、自宅退所後に通所リハビリを利用する利用者に対しては利用者の安心のため、可能な限り入所時のリハビリ担当者が引き続き担当している。
・通所リハビリ；居宅訪問指導を実施し、自宅環境や現在の ADL を評価している。評価に基づき自宅での生活を継続することが出来る様に、ADL の向上や介助量の軽減のためのリハビリプログラムを提供している。また、福祉用具導入の助言や家族等への介助指導を行っている。その他、利用者のニーズに応じて社会参加への取り組みも助言している。
また、祝日営業に対する利用者ニーズがあることから、月曜日の祝日営業を行っている（年末年始除く）。

【診 療・部署実績】

2023年度リハビリ実施件数
入所

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
個別、集団リハ	450	542	456	465	485	501	581	522	542	597	574	550
短期集中リハ	396	488	521	445	455	561	567	414	440	365	308	283
ショートステイリハ	88	89	84	84	80	69	68	76	71	79	95	86
合計	934	1119	1061	994	1020	1131	1216	1012	1053	1041	977	919

通所リハビリ

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
個別リハ	481	527	596	520	587	596	627	593	599	587	604	620
短期集中リハ	17	6	5	13	19	13	5	16	14	6	0	6
合計	498	533	601	533	606	609	632	609	613	593	604	626

〇入所前後訪問指導件数：２５件／年　　〇退所前後訪問指導件数：２２件／年　　〇通所リハビリ居宅訪問件数：２８件／年
〇通所リハビリ、リハビリ会議開催件数：リハマネBロ　１９件／年、リハマネAロ　４件／年

【学会発表】　　施設：多根介護老人保健施設てんぽーざん　　部署：リハビリテーション科

会名称	第２２回大阪病院学会		
発表テーマ	加算型介護老人保健施設における在宅復帰に関する要因分析 ～リハビリテーションの視点から～		
日時	2023年10月8日	発表者	池田　陽一
場所	グランキューブ大阪		

◆医療生活相談室

【部署概要】

てんぽーざん、第二病院における相談、利用調整を行っている。
相談受付時には第二病院・てんぽーざんどちらの対象か明確ではないことや、利用調整の途中で対象施設が変更となる場合もあるため、業務内容についてはてんぽーざん・第二病院双方を含んだ内容となる。
主な業務内容は、入院・入所・ショートステイの利用調整（相談受付からサービス利用に至るまでの調整過程全てを含む)、退院・退所調整等である。

【診 療・部署体制】

第二病院の業務と兼務して 4 名体制で行っている。

【特色・トピックス】

入退所数は昨年度と大きく変わりはなかった。
系列病院からの相談は少し減少した代わりに、他院・自宅からの相談が増加し、受け入れも増えた。各所への営業活動が結実した結果だと感じている。
今年度も加算型の維持はできている。更に入退所をしっかり調整して空床が減るように、ショートステイ件数も高いまま維持できるように取り組んでいきたい。

【診 療・部署実績】

2023 年度実績
新規相談：492 件（第二病院分も含む）
新入所：123 件
ショートステイ：441 件
入退所訪問：108 件
退　所：119 件（自宅 51 件、死亡 19 件）

◆栄養科

【部署概要】

栄養管理業務は、入所利用者一人ひとりに対し栄養スクリーニング・アセスメントをして、栄養ケアプラン（栄養補給方法、栄養量、嚥下機能に合わせた食形態など）を作成し、定期的にモニタリングを行い、栄養管理を実施しています。居室訪問では、個々の利用者に合わせた、食事栄養相談を行っています。栄養マネジメント強化加算を算定しているため入所者一人ひとりに合った食事形態の食事がさらに提供できるよう努めます。
給食管理業務は、多根第二病院と併設のため同一厨房にて通所を含め全ての食事を調理しています。老健では、温冷配膳車を使用し、通所では、カウンターから対面で適切な温度で食事を提供しています。旬の食材を使用し季節を感じられる献立を心がけ、月に数回行事食・イベント食を提供し食事を楽しんでいただけるよう努めています。

【診 療・部署体制】

〔栄養管理業務〕
・管理栄養士2名
〔給食管理業務〕
・委託給食（日清医療食品KK）
　スタッフ　栄養士1名　調理師1名　調理員2名

【特 色・トピックス】

1.栄養ケアマネジメントの作成
2.経口維持加算、栄養マネジメント強化加算、栄養アセスメント加算、口腔・栄養スクリーニング加算の取り組みを多職種と連携しミールラウンド及びカンファレンスの実施
3.栄養管理委員会の開催
4.栄養相談の実施
5.行事食、イベント食、郷土料理の実施
6.カンファレンスへの参加
7.褥瘡対策委員会、行事委員会、CS 委員会、衛生委員会への参加
8.大老協西部ブロック栄養士部への参加
9.おやつレクリエーションの実施
10.栄養科だよりの作成、掲示（各フロア）
11.嚥下食の見直し及び嚥下機能に応じた食品の検討
12.備蓄食品の見直し及び導入

【診 療・部署実績】

老健　食種別食事提供数　2023年度（単位　食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常食	2,855	2,760	2,544	2,478	2,646	2,646	2,689	2,407	2,605	2,553	2,468	2,579
きざみ食	685	813	879	1,100	1,082	1,094	1,088	571	563	551	633	560
ﾍﾟｰｽﾄ食	484	340	270	320	320	280	280	360	593	464	348	403
嚥下食	284	292	251	280	226	186	186	169	155	242	119	262
軟菜食	873	858	804	710	847	844	882	1,147	1,422	1,568	1,567	1,795
糖尿食	1,147	1,636	1,338	1,310	1,457	1,440	1,374	1,192	1,111	1,087	932	890
心臓食	616	787	868	876	843	960	861	839	837	825	755	744
心糖食	180	186	333	279	346	463	469	398	319	206	187	180
肝臓食	0	0	0	0	92	77	0	0	0	0	0	0
腎臓食	262	259	260	295	287	270	267	255	277	277	261	209
潰瘍食	180	186	180	186	186	152	93	90	134	186	149	93
膵臓食	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	87	93
低残渣食	0	0	0	76	19	0	0	63	185	186	168	136
貧血食	0	0	0	0	0	11	93	90	93	93	87	93
濃厚流動	90	93	89	93	93	147	186	180	185	169	87	93
計	7,746	8,303	7,906	8,096	8,537	8,660	8,561	7,851	8,572	8,500	7,848	8,130

通所　食種別食事提供数　2023年度（単位　食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常食	341	378	398	362	391	400	427	393	388	379	377	387
きざみ食	15	19	23	23	36	23	19	11	4	2	3	2
ﾍﾟｰｽﾄ食	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0
嚥下食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軟菜食	27	31	35	27	18	22	17	26	28	26	32	33
糖尿食	62	68	72	53	46	40	44	27	33	44	46	50
心臓食	16	23	19	23	26	34	43	30	42	45	42	45
心糖食	7	14	12	21	23	16	20	36	41	37	47	42
腎臓食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
潰瘍食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膵臓食	8	9	9	9	7	8	9	8	8	8	9	6
低残渣食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貧血食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
濃厚流動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	476	542	568	524	550	543	579	531	544	541	556	565

行事食・イベント食

4月	お花見会	お花見弁当
	季節の料理	桜散らし寿司、豆ご飯、筍ご飯、桜餅
	郷土料理	スタミナラーメン(茨城県)
5月	八十八夜	お茶プリン
	こどもの日	こいのぼりゼリー
	昼食レクリエーション	お好み焼き
	郷土料理	かつおのたたき(高知県)
6月	昼食レクリエーション	鉄板焼き
	郷土料理	サンマーメン(神奈川県)
	季節のﾃﾞｻﾞｰﾄ	あじさいゼリー
7月	七夕	七夕そうめん、お星様ゼリー
	昼食レクリエーション	サマーバイキング
	郷土料理	ゴーヤチャンプル(沖縄県)
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
8月	お盆献立	茶そば御膳
	ワンプレートランチ	ワンプレートランチ
	郷土料理	太平燕(熊本県)
	おやつレクリエーション	ホットケーキ作り
9月	郷土料理	芋煮(山形県)
	十五夜	お月見そば、お月見饅頭、お月見ゼリー
	おやつレクリエーション	たこ焼き
	季節のケーキ	モンブラン
	敬老の日	赤飯御膳、紅白饅頭
10月	郷土料理	がめ煮(福岡県)
	季節の料理	栗ご飯
	昼食レクリエーション	焼きそば
	ハロウィン	かぼちゃタルト
11月	すこやか祭り	たこ焼き
	郷土料理	味噌カツ(愛知県)
12月	郷土料理	治部煮(石川県)
	お寿司フェア	にぎり寿司
	クリスマスイブ	チーズハンバーグ
	クリスマス	オムライス、鶏の唐揚げ、クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1月	お正月	おせち料理
	小正月	おやつにぜんざいを提供
	郷土料理	とり天(大分県)
2月	節分	助六寿司、節分豆、わたようかん
	バレンタインデー	ティラミス
	昼食レクリエーション	寄せ鍋
3月	ひなまつり	ひなちらし寿司、三色ケーキ
	お彼岸	ぼたもち
	お寿司フェア	にぎり寿司

月1回、お誕生日メニューとして散らし寿司を提供。

◆薬局

【部署概要】

調剤業務、注射業務、医薬品情報管理業務、医薬品管理業務を中心に医薬品の安全管理と適正使用を促進する業務を行っている。

〔方針・目標〕

1. 医薬品情報を加味した安全かつ安定な医薬品供給に努める。
2. 医師の処方に基づき、患者様の薬物療法に貢献する。
3. 他部門との連携を進めながら、業務の効率化を図る。
4. 医薬品費の抑制として、後発医薬品の採用促進に努める。

【診 療・部署体制】

〔スタッフ〕

薬剤師 1 名（「多根第二病院」兼務）

〔調剤業務〕

入院処方箋枚数　月平均　880.8 枚

〔注射業務〕

入院注射箋枚数　月平均　15.4 枚

〔医薬品情報管理業務〕

医薬品情報の収集・管理、関連部署への薬剤情報の提供、副作用情報・緊急安全性情報の提供、主な採用医薬品の錠剤識別表の配布、薬剤部ニュース発刊、院内医薬品集発刊

〔薬物的管理業務〕

医師の処方に基づき薬剤管理を行い、入所者様が安心して安全に納得して薬物療法を受けられるように心がけている。

病棟、患者家族の要望により、説明、情報提供を行っている。

全ての長期入所者様の持参薬を鑑別報告している。

退所時「お薬説明書」を作成し、交付している。

〔医薬品管理業務〕

在庫数、保管状況、使用期限の管理を行っている。

病棟配置薬に関しても、月 1 回確認している。

【特 色・トピックス】

・2010 年 1 月よりすべての長期入所者様に一包化調剤を行っている。
・2007 年 10 月より、輸液の処方（単品を含む）について、注射薬ラベルを薬局で作成し、注射薬の交付時に注射薬とともに交付している。
・2011 年 8 月より、アンプルなどの単剤についても交付している。
・2012 年 4 月より、医療生活相談室からの要望により老健入所判定会の資料として処方薬を鑑別し、当院採用の代替医薬品と薬剤費の概算を報告している。
・2013 年 3 月より、定期処方の開始曜日を全病棟「木曜日」に統一した。
・2014 年 6 月より、注射薬の交付について処方ごとにアンプル・バイアルをセットしている。
・2015 年 4 月より、従来 栄養科が注入食に添付していた補正用の食塩を看護部門からの要望を受けて薬局から定期処方と共に交付している。
・2017 年 6 月より、電子カルテの可動により薬剤業務がシステム化された。(医薬品在庫管理を除く)
・2018 年 12 月より、毒薬及び覚せい剤原料については、病棟・薬局双方で確認（押印）して交付している。
・2019 年 6 月、災害時の備蓄として、医薬品を 5F,6F 病棟に分割して設置した。
・2021 年コロナ禍において、ｺﾛﾅｳｲﾙｽ RNA ﾜｸﾁﾝの希釈・分注を行っている。
・2022 年　条件付き BOX を作成し、病棟での頓服薬の在庫の効率化を図った。
・2023 年　より安全に注射投薬を行えるように注射監査システム「F-AUDIT」を導入した。

【診 療・部署実績】

〔後発医薬品採用率〕

後発医薬品のある先発医薬品に対する後発医薬品採用率（品目数）：83.3%

〔処方箋枚数・注射箋枚数〕

	処方箋		注射箋枚数
	枚数	件数	入院
2023年4月	789	1,788	12
5月	843	1,897	11
6月	910	2,206	7
7月	791	1,762	9
8月	964	2,257	20
9月	855	1,906	1
10月	906	1,936	7
11月	912	2,097	8
12月	914	1,853	8
2024年1月	1,021	1,980	44
2月	861	2,043	31
3月	803	1,695	27
合計	10,569	23,420	185
月平均	880.8	1,951.7	15.4

◆事務部

【部署概要】

事務部は、多根第二病院の管理部業務内容を兼任して事務部門及び施設管理を担当している。業務内容として、窓口業務及び保険請求業務、管理統計資料の作成、経営指標の資料作成等の事務職以外に患者や利用者の搬送および送迎業務、また施設管理も行っている。当老健施設が提供しているサービスは、入所（２療養棟100床）、短期入所療養介護、通所リハビリテーションとなっている。なお入所において７階と８階の二つの療養棟のうち、８階は認知症が重度の方（認知症の診断があり、かつ、日常生活自立度Ⅲ以上）を受入れている。大都市の中にある施設として、高齢者の方や長期療養を必要とする方に対し少しでも安心して療養を受けていただけるよう努めている。

【診 療・部署体制】

多根介護老人保健施設てんぽーざんと多根第二病院の事務、管理業務を兼務。2021年10月の組織体制改変以後、老健・病院それぞれに事務長が配置され、2023年度は事務長2名、顧問1名、課長補佐１名、部員6名の10名体制で上記の老健・病院の事務、管理業務を行っている。

【特 色・トピックス】

多根介護老人保健施設てんぽーざんは、介護保険が導入された 2000 年から開設運営している。老健は利用者が自宅で生活できる状態に回復させることを目的としており、入所サービスと居宅サービスを効率的に運用し、利用者や家族に質の高いサービスを提供することを心がけている。なお 2019 年 1 月から在宅復帰加算型施設として運営しており、2021 年 10 月より部署名称が管理部から事務部へ変更となっている。

【診 療・部署実績】

				7F	8F	計
長期入所		入所者数(新規入所者)	名	81	47	128
		退所者数	名	80	48	128
		入所者延日数(延人数)	日	14,940	16,466	31,406
		平均在所日数	日	185.6	346.7	245.4
短期入所		短期入所利用者(実人数)	名	40	15	55
		短期入所延日数(延人数)	日	1176	348	1524
		平均短期入所日数	日	29.4	23.2	27.7
ベット利用率				88.1%	91.9%	90.0%
(ベット稼働率)						(91.6%)
1日当り			名	44	45.9	90.0
入所	入所経路	協力病院(多根 総・リハ・眼)	名	44	26	70
		※上記の内 リハ病院	名	4	3	7
		併設病院(多根 第二)	名	5	6	11
		他病院	名	12	2	14
		他施設	名	0	0	0
		自宅	名	15	3	18
		その他	名	6	9	15
退所	退所経路	協力病院(多根 総・眼)	名	5	7	12
		併設病院(多根 第二)	名	0	5	5
		他病院	名	0	2	2
		他施設	名	19	15	34
		自宅	名	37	8	45
		その他・死亡	名	19	11	30
通所		新通所	名	－	－	28
		1日当り	名	－	－	31.3
		通所者延数	名	－	－	7,797